

## 「留萌の魅力・再発見プロジェクト」とは？

人口減少や高齢化が進む中、地域が抱える様々な課題や地域格差を解消するため、留萌にある地域資源を改めて見つめ直し留萌の宝として、大切に磨き上げながら、観光や物産振興などに活用することにより、留萌の交流人口の拡大や地場産業の創出による地域活性化を図ることを目指している事業です。

この事業は、北海道の地域再生チャレンジ交付金事業に採択されています。

## 平成21年度のチャレンジ

- 今年度は、これまで取り組んできた各プログラムの事業成果を活かしながら、健康をテーマとした新たな観光創造及び地場産業の創出による元気な留萌の再生を目指します。
- 【主な事業計画】**  
平成20年度に引き続き、次の3つの柱に各種事業に取り組みます。
- ◆留萌再発見プログラム◆  
▼専門的知識を有する観光アドバイザーや大学生などの協力による外から見た留萌の魅力とその活用方法などについての研究事業  
▼千望高校生による街なか散策マップの作成
  - ◆ヘルスツーリズム実験プログラム◆  
▼医学的根拠に基づく健康を考えるメニューや留萌の農漁村体験、ツアー参加者と市民との交流などを組み合わせた留萌オリジナルのヘルスツーリズムモニターツアーの実施（春・夏・秋の3回を実施予定）
  - ◆市民コンシェルジュ育成プログラム◆  
▼市民コンシェルジュ勉強会の開催と観光案内（ガイド）の実践研修  
▼るもい観光ガイドなどの作成、るもい検定の検討など

# 留萌の “魅力” 再発見

皆さんは「留萌の魅力は？」と聞かれたとき、どのように答えますか？  
豊かな自然、美しい景観、歴史的文化財や農水産物、特産品、人、産業など、この地域にはたくさんの優れた資源があります。  
市ではこれらの地域資源を活かした新たな観光の創造による交流人口の拡大や地場産業の創出を目指した「留萌の魅力・再発見プロジェクト（H20～21年度）」に取り組んでいます。



「市民コンシェルジュ育成プログラム」  
～市民コンシェルジュ勉強会



「ヘルスツーリズム実験プログラム」  
～留萌の食材で米粉ピザを作ろう！



「ヘルスツーリズム実験プログラム」  
～地域再生シンポジウム in 留萌



「留萌再発見プログラム」  
～千望高校生による観光案内板視察（深川市）



「留萌再発見プログラム」  
～留萌再発見 市民ワークショップ



「留萌再発見プログラム」  
～観光アドバイザーによる街並みリサーチ

留萌の魅力・再発見プロジェクトは、3つのプログラムを柱に事業を行っています。

## 3つのプログラム

### ①留萌再発見プログラム

身近にある自然、食、文化など、ふだん何気なく接しているものに、改めて目を向け、地元住民や外部からの視点で留萌の魅力を再認識・再発見し、新たな観光資源としての活用を目指すプログラムです。

#### 【平成20年度の取り組み】

北大観光学高等研究センター准教授や同大学院生の協力により、現地調査、市民ワークショップなどを開催し、留萌の地域資源の洗い出しやオリジナル留萌ツアーの企画づくりを行いました。

また、留萌千望高校の協力によりJR留萌駅前の観光案内板のリニューアルに取り組みました。同校情報ビジネス科の生徒4人が、他都市の観光案内板や観光マップなどを参考にしながら、若者らしいアイデアを盛り込んだ案内板に生まれ変わりました。

### ②ヘルスツーリズム実験プログラム

観光旅行の形態が団体から個人に移行している中、観光ニーズの変化に対応した地域の受け入れ態勢の整備を図るため、健康をテーマとした新たな価値観の創造と効果的な情報発信による交流人口の拡大を目指すプログラムです。

#### 【平成20年度の取り組み】

医学的根拠に基づいた健康を考える観光である「ヘルスツーリズム」の将来的な商品化などへの可能性を探るため、有識者や専門機関との連携、シンポジウムの開催による市民周知有識者と市民との交流会や意見交換会を開催しました。

また、留萌南部3市町で生産されている農水産物を対象とした地元の安心安全なヘルシー食材の資源調査や農村体験交流を行っている市民団体（フィールドるもい）への活動支援事業（補助事業）に取り組みました。

### ③市民コンシェルジュ育成プログラム

市民一人一人が「おもてなしの心」を持ち、地域ぐるみで留萌を訪れる方々に接することにより、まちの魅力を引き上げ、留萌ファンやリピーターの増加による交流人口の拡大を目指すプログラムです。

#### 【平成20年度の取り組み】

NPO法人留萌観光協会との連携により、おもてなしの心（ホスピタリティ）を持って観光客に接する市民コンシェルジュ（観光案内役）を養成するため、コンシェルジュ勉強会を開催し、第1回目は、有識者による講演、地元お土産店店長の事例発表、留萌に関する知識を学ぶ「るもい検定模擬試験」や意見交換会などを行いました。